

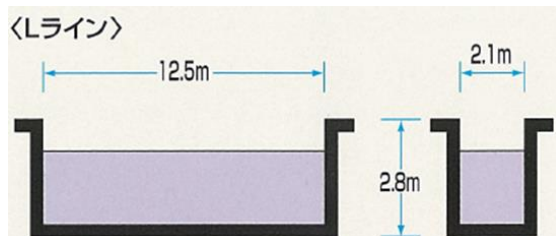
1

CKe めっきについて

～ カドミ無 & 鉛無 & 六価クロム無 ～

シーケー金属株式会社は、日本海側最大のめっき加工工場です。

3つのめっき釜を保有しています。(S,M,Lライン)

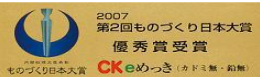


〈Sライン〉 L 2.5m × W 1.1m × D 1.4m

〈Mライン〉 L 6.0m × W 0.85m × D 1.1m

〈Lライン〉 めっき可能寸法

L 12.0m × W 2.0 × D 2.5m

カドミウム無 & 鉛無	<p>めっき浴中にカドミウム及び鉛が含まれていないため、各国の法規制（RoHS指令等）を完全にクリアしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> 国土交通省の NETIS 登録技術です。（登録番号 HR-170002-A） 第2回ものづくり日本大賞 優秀賞を受賞しました。 
六価クロム無	<p>白さび防止処理に六価クロムを使用せず、同等以上の性能を実現しています。（eメート）</p>
価格据え置き	<p>一浴性のめっきであり、作業効率や価格は通常のめっきと同等です。</p>
JIS規格に適合	<p>JIS規格（JIS H 8641のめっき浴亜鉛成分97.5%以上）に適合しています。</p>
優れた外観	<p>通常のめっきより優れた光沢・表面状態を実現しました。</p>
優れた耐食性（1.4倍）	<p>耐食性は通常のめっきと同等以上（海岸地域では1.4倍*）となりました。 ※第三者機関（富山県工業技術センター）での試験結果</p>

2

CKe めっき採用事例



東京スカイツリー



北陸新幹線 白山車両基地



北陸新幹線 JR金沢駅舎

3

溶融亜鉛めっき鉄筋

～日本建築センター認定取得(BCJ 認定-SS0010-02)～

CKeめっきを施した溶融亜鉛めっき鉄筋は、平成25年に(一財)日本建築センターの認定を取得しました。

特徴

塩害対策

腐食対策

耐加熱

低コスト

容易な取扱い



	溶融亜鉛めっき鉄筋 (CKeめっき)	普通鉄筋 (黒鉄筋)	エポキシ鉄筋
付着強度 (普通鉄筋比)	1以上	1	0.8
耐塩化物イオン (塩分含有量)	○ (0.1%以下)	× (0.02%以下)	◎ (皮膜損傷が無い場合)
コスト (普通鉄筋比)	○ (2)	◎ (1)	× (3)
犠牲防食作用	◎	×	×
耐熱性	○	○	× (300℃で軟化)

コンクリートとの付着強度は、亜鉛めっき鉄筋の方が高い

CKeめっきを施した溶融亜鉛めっき鉄筋は、エポキシ鉄筋よりも低コスト*で、付着性能・耐食性に優れた鉄筋です。(機械的特性・付着強度を維持したまま黒鉄筋の耐食性を向上できます。)

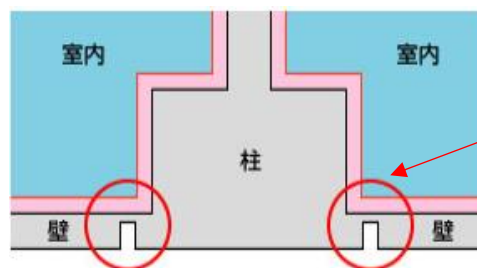
※ コンクリートとの付着強度が高いためエポキシ鉄筋よりも配筋量が少なくて済むことから、材料費・施工費が安くなります。

【溶融亜鉛めっき鉄筋の動き・採用事例】

- 欧米諸国では「溶融亜鉛めっき鉄筋」に関する各々の国内規格が整備されています。
- 国際標準化機構による ISO 14657「コンクリート補強用めっき鋼材」も存在します。
- 世界的には、シドニーオペラハウスやニュージーランド国会議事堂をはじめ、溶融亜鉛めっき鉄筋は建築・土木のさまざまな施設に使用されています。
- 日本においても、既に土木分野やスリット工法 (建築分野、耐震対策) に使用されています。



シドニーオペラハウス



コンクリートからむき出しになる部分に、溶融亜鉛めっき鉄筋が使用されています。

スリット工法のイメージ図